

2011年度

科目名	病院薬剤師論				
担当教員	西井 諭司				
配当	薬科5・6			コード	80832
開期	集中前期	講時	集中0限	単位数	2
授業テーマ	最近の病院薬剤師の業務を理解し、チーム医療における薬剤師の役割を学ぶ。				
目的と概要	現在の病院薬剤師の業務は、従来の調剤、製剤、薬品管理、医薬品情報管理、患者への服薬指導などの業務に加えてチーム医療の一員として、より専門性の高い薬剤業務が求められている。例えば「癌化学療法専門薬剤師」「院内感染制御専門薬剤師」「緩和医療専門薬剤師」「栄養管理専門薬剤師」などがあり、「チーム医療と薬剤師」の総論から各領域の専門薬剤師の最近の活動を紹介し、より高度な薬剤師へのモチベーションを高める。特に「薬学6」は病院実務実習を体験した後の拡張的な講義として、さらに医療現場と密接に関連付けた具体的な症例、具体的な活動状況等を紹介していく。				
成績評価法	全ての授業終了後の論述式試験(60%)と平常点(40%)				
テキスト	「2011年版薬学生のための病院・薬局実務実習テキスト」/病院薬局実務実習近畿地区調整機構監修/じほう社				
参考書	必要に応じて紹介する				
履修に当たっ ての注意・助言 /準備学習	5年次講義は、病院実務実習開始直前に行い、医療人としての薬剤師の倫理観、使命感、職業観を学びつつ、病院実習に臨んでほしい				
講義計画					
5年次3コマ、6年次12コマの集中講義を行う。 補助教員:小川雅史、廣谷芳彦、小西廣己、上島秀樹、名徳倫明、初田泰敏、川西園代、池田賢二、伊賀幾美					
回数	授業形態	授業内容	到達目標(SBO)	コア対応番号	学習領域
1	講義	病院薬剤師の業務(総論)	1. 医療の現状をふまえ、その中で病院薬剤師の使命、果たすべき役割について説明できる。 2. いま病院薬剤師が取り組んでいる業務を具体的に列挙し、それらについて概説できる。 3. 病院薬剤師がおこなう業務が患者本位のファーマシューティカルケアの概念に添ったものであることを理解する。 4. 病院実務実習に際しての留意点を認識し、モチベーションを高める。	D(1) D(1) D(1) D(1)	知識 知識 知識 知識
2	講義	病院薬剤師の心得と医療安全管理	1. 医療における薬剤師の使命や倫理などについて概説できる。 2. 病院内における医療安全管理体制について概説できる。 3. 医療安全管理において、薬剤師が果たすべき役割について説明できる。 4. 病院薬剤師業務の中でおこしやすいインシデントや事故事例を列挙し、その原因と対策について説明できる。	D(1) D(1) D(1) D(1)	知識 知識 知識 知識
3	講義	チーム医療における薬剤師の役割	1. 医療現場において取り組まれている「チーム医療」の概念とその必要性が説明できる 2. 医療チームの構成や各構成員の役割分担、連携、責任体制などを説明できる。 3. それぞれの医療チームにおいて病院薬剤師の果たすべき役割を説明できる 4. 自分の能力や責任範囲の限界と他の医療従事者との連携について理解する。 5. 各医療チームで活躍できるように、いま習得しておくべき知識とは何かを考え、実務実習へのモチベーションを高める。	D(1) D(1) D(1) D(1) D(1)	知識 知識 知識 知識 知識
授業方法					
一般目標	学習方法	場所	教員数(補助者数)	教科書以外の教材など	時間(分)
病院薬剤師論	講義	講義室	1(9)	配付資料、パワーポイント、DVD	90分X3回